

科目名	一級建築士建築施工				
担当教員	木原 隆明		実務授業の有無	○	
対象学科	一級建築士専攻科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	建築の施工は、建築の技術者としての基本的な理論を理解する必要があることと、1級建築士の学科試験に合格する為の知識として、規定値を暗記する必要があるため、この2点に重点を置き講義をします。特に施工は経験工学と言われる程、実際の現場や作業の流れを視覚から理解をしないと難しい面があるので、施工写真や、図を見せながら、講義をします。また数値の暗記は語呂などを声に出させ、また、ノートに書くことで聴覚と手を動かすことで脳を刺激して記憶の定着を図ります。				
学習目標 (到達目標)	一級建築士学科試験「建築施工」において、20点(25点中)以上の取得を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1級建築士講座テキスト(総合資格学院) 1級建築士問題集(総合資格学院)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	施工計画 工程管理			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
2	品質管理 現場管理			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
3	建設業法関連 産業廃棄物処理及び土壌汚染関連			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
4	材料管理 申請・届け出			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
5	測量 地盤調査			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
6	仮設工事 土工事・山留工事			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
7	基礎工事 鉄筋工事			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
8	型枠工事 コンクリート工事			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
9	鉄骨工事 プレキャスト鉄筋コンクリート工事			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
10	メーソンリー工事 ALCパネル工事			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末考査	取組姿勢			施工の試験は比較的、過去問の出題割合が多いので、過去問での何でそうなるのかの理論、理屈を理解してから、その規定値を暗記すれば、必ず高得点源になります。	
80 %	20 %				
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	現場設計・施工管理業務経歴48年				